

総務常任委員会報告書

平成 31 年 2 月 28 日

委員長 岩井 秀一

総務常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けた事項について、調査結果の概要を報告します。調査に際し、2月6日に総務部長及び関係各課に出席を求め、委員会を開催致しました。

【**コミュニティ推進課**】コミュニティ推進係より、花いっぱい運動事業補助、防犯灯設置補助、まちづくり出前講座、文書配布業務委託について、男女共同参画係より、女性起業カフェフォローアップセミナー、男女共同参画セミナー等、平成 30 年度古賀市男女共同参画計画実施状況報告について、市民活動支援センター係より、登録団体活動応援事業、つながりひろば運営業務委託について、【**経営企画課**】広報秘書係より、広報こが・行事予定表の変更、市公式ホームページ、バナー等広告、市民相談・無料法律相談、6万人のKOGAセールスマン事業について、経営企画係より、西鉄バス、公共施設等連絡バスの運行実績など公共交通について、西鉄バス舞の里車庫について、博多大丸「九州探検隊」のアンバサダー認定、しこふむ地域歩く王決定戦、福岡女子大学との連携協定の締結について、【**人事課**】行政管理係より、職員採用試験、3月退職見込みについて、職員係より、EAP、予算書における人件費表記の変更について、【**財政課**】財政係より、個別補助金の審査に関しかねてより意見のあった2点を審査委員会に諮った結果について、審査時間が短いという指摘については、長いものでは1時間を要した場合もあり、担当課等の目安の時間である。被補助団体からの意見の聴取については、審査の方法は、古賀市個別補助金審査要領第3条の、補助金審査調書及び担当課への質疑応答によるという規定に沿っている。審査結果取りまとめの前に、担当課を通じて被補助団体に結果を通知し、文書での意見の陳述の機会を設けたいとのこと、【**管財課**】契約係より、平成 30 年 10 月～12 月の入札結果、古賀市入札監視委員会の答申について、【**総務課**】総務係より、古賀市長選挙投票結果速報、古賀市議会議員選挙に係る立候補予定者説明会の開催について、危機管理係より古賀市消防団人事、古賀市消防団入退団式、花見校区コミュニティ防災訓練、清掃工場トラブル、粕屋医師会と「災害時の医療救護活動に関する協定」の締結、新栄環美事業協同組合と「災害時における一般廃棄物の収集運搬に関する協定」の締結について等の報告があり、すべての課において活発な質疑が交わされました。

主な質疑としては、

【**コミュニティ推進課**】では、文書配布世帯数の確認、平成 29 年度分男女共同参画計画実施状況報告での指摘事項に対して、具体的にどう取り組むのかとの問いに、平成 29 年度からの5カ年計画であり、今後審議会の意見、評価をいただきながら所管課と連携して取り組むとのこと。他、つながりひろば運営業務委託先の選定について等。

【**経営企画課**】では、市民相談について対応する職員のストレス、市の公式ホームページが表示されるまでに時間がかかること、また、6万人のKOGAセールスマン事業の希望者の選定方法や要件、活動内容について。これは新しいプランであり、職員から始めるなど慎重に対応してほしいとの要望があった。西鉄路線バス7番系統の廃止と振りかえによる影響はとの問いに、ルート変更というイメージであり、西鉄との協議により時間の変更はなく、むしろ充実すると考えているとのこと。他に、公共施設等連絡バスのバス停追加、土・日・祝日の運行等今後について、小竹地域との協議の有無、地域公共交通会議について。舞の里車庫については、西鉄バス新宮営業所と香椎浜営業所が廃止され、アイランドシティ営業所に統合されることに伴う新設で、施設はバス乗務員の休憩機

能のみであるとのこと。

【人事課】では、精神的な疾患で休職中の職員の状況はとの問いに、現在 4 名休職中であり、2 年以上休んでいる職員がいるとのこと。予算書の人件費表記変更については複数の委員より疑義が述べられ、各手当ごとに予算を計上した場合、不足額が生じると補正予算を組むことになるが、手当を一括して予算計上した場合、他の費目で執行残が見込めるようであれば、補正額の抑制が可能になり、執行残を減らせるとの回答。また、職員 1 名分の人件費を組んでいる費目については、個人の状況が読み取れることに問題があると考えているとのこと。

【財政課】では、補助金審査委員会の審査に時間を要したものの、審査結果の取扱いについて。

【管財課】では、最低制限価格は設定されていると思うが、最低価格の公表の考えはとの問いに、すべて非公表としている。公表するにしても事後公表であるとか、事前公表は望ましくないという国の見解に沿って対応したいとのこと。他、入札監視委員会の構成、橋上駅舎のアクセス改善調査検討業務委託の概要について。

【総務課】では、花見校区コミュニティ防災訓練について、要援護者の避難支援、また名簿の取り扱いはとの問いに、具体的な名簿は使用せず、地域で把握されている要援護者の方々に対して、車いす等を活用しながら避難活動を行うとのこと。医療救護活動や一般廃棄物の収集運搬協定以外での、災害時の活動に関する協定の締結状況はとの問いに、県内市町村、国土交通省、福岡都市圏の消防相互応援協定などの公的機関はもとより、民間においても食料品、日用品、生活雑貨などの供給を受けることの協定を結んでいるとのこと。

以上、閉会中所管事務調査結果の概要報告を終わります。